

雲北陵月報

No. 430

令和3年6月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

卓球部

男子団体 11大会連続14回目の優勝！
個人戦 シングルス・ダブルス優勝！

時 6月3～5日
於 益田市民体育館

〈男子団体〉優勝
〈男子シングルス〉
優勝 杉浦大和(22歳)
2位 原田哲多(34歳)
3位 王 翊翔(22歳) 佐藤卓斗(14歳)



団体戦優勝メンバー

〈男子ダブルス〉

優勝 原田哲多・杉浦大和組
2位 山本淳史(23歳)・小川さくら(11歳)組
3位 王 翊翔・佐藤卓斗組

○大会総評

新型コロナウイルスの影響で、通常の強化スケジュールが消化できず、多くの不安要素を抱えながら今大会を迎えたが、選手は最後まで粘り強く戦い、好成績をおさめることができた。大会期間中はチャンピオンチームとしてのプレッシャー



シングルス優勝の杉浦大和 ダブルス優勝の原田哲多(左)・杉浦大和組

が重くのしかかり、試合内容は決して良いものではないが、主将の原田を中心とするチーム力で難局を乗り越えることができた。インターハイでの入賞は平成25年から遠ざかっている。今年こそはという強い気持ちを持ってインターハイに臨みたい。
(顧問 古瀬泰之)

男子バスケットボール部

3大会連続7回目の優勝！

○大会総評

決勝は県新人戦と同じく松江西高校との試合になったが、チーム一丸となった戦いをみせ、堂々のインターハイ連続出場を決めた。



全国大会出場を決めた男子バスケットボール部

今年のチームは、県新人戦で優勝し、幸先のよいスタートを切れたが、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大により、県総体まで思うような調整ができなかった。しかし、今大会は3年生を中心に勝ちあがるとともにチームが一つとなり、2年ぶり8回目となるインターハイ出場を決めた。

部員達は全国の舞台で勝利を掴むことを目標にこれまで練習に励んできた。更に高みを目指し、これからの練習に精進したい。

第65回中国高等学校バスケットボール選手権大会
一回戦
本校 78-90 誠英高校(山口県代表)

○大会総評

初戦は山口県代表の誠英高校との試合になったが、前半から本校のバスケットをさせてもらえず、残念ながら初戦敗退となった。

島根県高校総体で優勝し、インターハイに向けて勢いに乗りたい大会であったが、調整が難しく、思うような試合運びができないうまく敗戦となった。

インターハイでは全国の強豪チームと対等な試合内容が求められる。戦術とメンタルの部分をもう一度整理し、鍛えていかなければならないと痛感させられた。今後はインターハイに向け、県代表として恥ずかしいゲームをするため精進を続けたい。
(顧問 手島幹人)

ソフトテニス部

時 6月3～5日
於 松江市宮庭球場

団体第3位(11年連続中国大会への出場権獲得)

メンバー(神田、岩崎、木村、青木、川角、堀江、高橋、陰山)

2回戦 ③-① 松江高専

準決勝 ②-① 安来

準決勝 ①-② 浜田

個人1ペアがインターハイ、3ペアが中国大会への出場権獲得

準優勝 神田好太郎(32歳)・岩崎遥平(25歳)

ベスト16 インターハイ・中国大会出場決定
木村蔵人(22歳)・青木快生(24歳)
川角悠太(21歳)・江角虎哲(22歳)

中国大会出場決定



○大会総評
団体戦は3位という悔しい結果となった。主将を中心に北陵らしい試合をしたが、準決勝では相手の勢いに受け手にまわってしまい敗退となった。この悔しさを忘れず、中国大会では優勝を目指し頑張りたい。個人戦では神田・岩崎ペアが決勝まで駒を進めインターハイへの切符を手にした。優勝まであと一歩だった。この経験を生かして、インターハイ上位進出を目指したい。
(顧問 佐々木雄志)

なぎなた部

時 6月5日
於 本校黎明館

〈演技競技の部〉

優勝 橋垣母佳(13廻・高野杏夏(24北)組
2位 廣瀬米香(15北・杉山華織(35北)組
〈個人試合の部〉

優勝 杉山華織

2位 高野杏夏
3位 廣瀬米香

※演技・個人ともに2位までが8月10日から石川県で行われるインターハイへ出場。

国体県予選兼県選手権兼県民大会

時 6月13日
於 本校体育館

〈演技競技の部〉

中学生 県選手権兼県民大会
優勝 佐々木璃子(中3・神野真輝(中3北)組
3位 神野泰蔵(中北・中島千紬(中3北)組
高校生 国体県予選

優勝 橋垣母佳・高野杏夏

2位 廣瀬米香・杉山華織
〈個人試合の部〉

中学生 優勝 神野真輝

3位 佐々木璃子
高校生 優勝 廣瀬米香

2位 高野杏夏
3位 杉山華織

※高校生上位3名は7月18日に岡山県で行われる国体中国ブロック予選へ出場。

(顧問 井上美代)

陸上競技部

時 5月28・30日
於 松江

柳谷怜映(32廻)

三段跳 2位入賞
中国大会出場権獲得

永岡歩望(34北) 400mH 8位
藤原 成(14北) やり投 8位
小瀧愛結美(35北) 800m 8位

第74回中国高校陸上競技大会

時 6月18・20日
於 山口

柳谷怜映(32廻)

三段跳 出場

○大会総評

2年ぶりに開催された県総体だったが、選手も生徒役員も一丸となって戦うことができた。今年は多くの新入生を迎え、例年より



事前の練習にも活気があり、大会を迎える準備はしつかりできていた。結果、4人が入賞、その中でも柳谷は初の中国大会出場権を獲得する大躍進だった。また、出場選手は全員、自己記録も更新した。今後、再び、インターハイを目指すよう頑張っていく。(顧問 別所美喜子)

テニス部

時 6月3・5日
於 浜山公園

〈男子団体〉

1回戦 本校 ③-① 松徳学院
2回戦 本校 ②-① 浜田
準決勝 本校 ①-② 開星

3位

〈団体メンバー(登録順)〉

石川泰丞(22北)・橋本脩平(31河)・土江裕貴(21北)・嘉本健太(25北)・安食 聡(24平)

〈男子シングルス〉

ベスト8 石川泰丞
ベスト16 橋本脩平

〈男子ダブルス〉
3位 橋本脩平・石川泰丞組

〈女子シングルス〉 3回戦敗退
〈女子ダブルス〉 2回戦敗退

○大会総評

部員・保護者・教員が一つとなって、選手を支え、素晴らしい時間を過ごすことができた。感謝を申しあげたい。橋本は唯一の3年生でチームを支え、鼓舞してくれた。新チームでは、その意思を引き継ぎ、更に飛躍してくれるものと期待している。(顧問 石川剛巨)



団体戦3位のメンバー



ダブルス3位の橋本脩平・石川泰丞組

中国ジュニア選手権大会県予選

時 5月22・23日
於 浜山公園

〈16歳以下男子シングルス〉 1回戦敗退
〈16歳以下男子ダブルス〉 1回戦敗退
〈18歳以下男子シングルス〉 1回戦敗退

5位 石川泰丞(22北)
中国大会出場決定

7位 橋本脩平(31河)
〈18歳以下男子ダブルス〉

1位 石川泰丞・久佐(浜田高)組
中国大会出場決定

3位 橋本脩平・土江裕貴(21北)組
中国大会出場決定

〈16歳以下女子シングルス〉 1回戦敗退
〈16歳以下女子ダブルス〉 1回戦敗退

女子バスケットボール部

時 5月27・28日
於 カミアリーナ

2回戦 本校 91-41 益田
準々決勝 本校 60-70 松江東
ベスト8

○大会総評

松江東高校との対戦では、序盤はリードする場面もあったが、後半怪我等により本校の良さが発揮できず、悔しさの残る試合となった。3年生は人数が少ないながら、ここまで良く頑張ったチームを引っ張った。この悔しさを忘れず次に進みたい。(顧問 篠原勝利)

女子ソフトテニス部

初の県総体出場

時 6月3日
於 松江総合運動公園

個人戦に1ペアが参加した。初めての県総体ということもあり、緊張も見られたが、今持てる力は発揮できたと思う。1年後を見据えてコツコツと頑張っていきたい。(顧問 金森 快)

サッカー部

時 5月27日
於 三隅中央公園陸上競技場

1回戦

本校 0-0 松江西高校

○大会総評

今年度は総体が実施となり、感謝の思いを持ち、普段の努力の成果を発揮する舞台を得られたことが部員にとって大きな経験となった。チームとして強い気持ちで臨んだが、前半の序盤に2失点を喫してしまい、うまくゲームを運ぶことができなかった。しかし、最後まで諦めずに戦う北陵らしさを見せてくれた。この思いを忘れずにリーグ戦・選手権に向けて改めてトレーニングに励みたい。(顧問 鈴木雄介)

野球部

令和3年度出雲地区高等学校野球大会

時 5月28～30日
於 県立浜山公園野球場
1回戦 本校 0-10 出雲西高校
○大会総評

今大会は春季大会の反省を生かして挑んだ試合であった。初回からチャンスをつくるも、攻撃のミスが続き、その流れを変えることができずこのような結果となった。春季大会では見られなかった新たな課題が数多く見つかり、選手権予選に向けて更に精進していきたい。ご声援有難うございました。(顧問 陶山浩史)

写真部

写真甲子園中国ブロック審査会

優勝！2年ぶり2回目の

全国大会出場決定！

第28回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2021」中国ブロック審査会が6月12日にリモートで行われ、本校が優勝を果たし、7月に行われる本戦大会(全国大会)への出場を決めた。本校からは大江日向人(34)、高橋友(33)、藤原香織(33)が選手として出場する。今年、は地元で再撮影した作品を北海道に送り、リモートでプレゼンを行う。日頃から支えてくださっている方々への感謝の気持ちを胸に、最善を尽くしたい。

春季写真コンクール

特選11点、入選21点入賞！

時 6月9日
於 松江商業高校
本校からは21人が105点出品し、11点が特選に入賞した。特選は以下の通り。
(作品番号順)

「一人の時間」 鎌田凌太郎(22)
「キメ顔」 原 未空(15)
「反転世界」 荒木孝太(32)
「あなたを待つ」 高橋 友(33)
「この親あつてこの子あり」 高橋 友(33)
「パンの素」 高橋詩織(15)
「祈り」 高梨優汰(23)
「夜勤」 坂口 輝(23)
「漢」 藤原香織(33)
「集中」 藤原香織(33)
「もっと自由に」 伊藤美希(21)

(顧問 村上 学)

吹奏楽部

出雲地区吹奏楽祭

時 6月5日
於 出雲市民会館大ホール

【演奏曲目】
・アラジン(A.メンケン)
・U.S.A.(C.Accatino/D.Cirelli/A.M.Gioio)
・ダンシング・ヨーヨー(A.F.Kytel/A.Baker)
出雲地区の吹奏楽部が集う吹奏楽祭が開催された。いずれの学校も新メンバーとなり、コンクールへ向け熱演を披露した。



本校は、全出場団体で唯一となるステージドリルを披露した。短い練習期間ではあったが、部員達は観客の皆様に楽しんでもらえるよう工夫を凝らし、精一杯の演奏演技を行った。吹奏楽祭という名に相応しく、会場は大いに盛り上がり、演奏後には大きな拍手をいただいた。
いよいよコンクールシーズンに突入である。全国大会を目指し、部員一同日々精進していきたい。(顧問 竹内康貴)

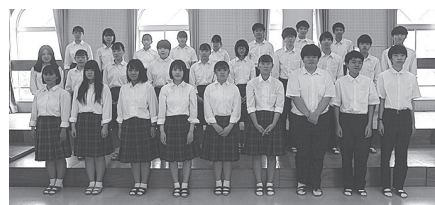
合唱部

第60回島根県合唱祭

時 6月13日
於 島根県民会館大ホール

コロナ禍の中、万全の感染対策が講じられ、島根県合唱祭が開催された。今回は第60回という記念すべきステージとなった。

演奏した曲は、NHK全国学校音楽コンクールの課題曲「彼方のノック」と信長高富作曲の「生きる理由」である。

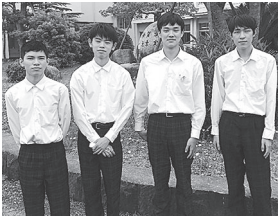


今年度、部員全員が揃った本番は今回が初めてであったが、清々しい表情で美しいハーモニーを響かせることができた。また、久しぶりの舞台での演奏となり、沢山のお客様に歌声を届けることができて生徒達は大変嬉しく思っている。

これからも、部員一同精進していきたいと思う。(顧問 齋藤来耶花)

第68回全国高校フットボール競技大会島根県予選

時 6月11日
於 松江商業高等学校



右から佐藤夢馬(3-1) 長廻光太(3-1) 岩見颯(3-1) 木村歩夢(2-1)
3年生3名、2年生1名で大会に参加した。全員が自己ベストとならなかったが、しっかりと練習

をして大会に臨むことができた。3年生はこれで引退となるが、残ったメンバーで引き続き頑張っていきたいと思う。(顧問 金森 快)

高校1・2年生 人権・同和教育HR実施

今年度1回目となる人権・同和教育HRが実施された。1年生は「誰もが充実した学校生活を送るために」を、2年生は「人権・同和教育の認識を深める」をテーマに学習した。生徒達は身近な具体例を用いて人権尊重への理解を深めることができた。



高校1・3年生 除草作業実施

5月19日の高校3年生による除草作業に続き、6月8日6限目に高校1年生が校地内・外周の草抜きや落ち葉掃きを行った。暑い中での作業とな



ったが、生徒達は熱心に作業に取り組んだ。普段の掃除では行き届かないところもあり、気持ちのよい環境になった。

◎高校PTA役員

会長	今岡 幹晴 様(34)
副会長	藤原 謙司 様(25)
副会長	藤原 大助 様(14)
監事	伊藤 和之 様(33)
監事	小川 敬 様(21)
監事	伊藤 堅志 様(11)

高校『地区PTA』日程及び内容の変更について(お知らせ)

○面談のみの実施と致します。
・日時 7月12日(月)～16日(金)
15:00～17:00
・場所 本校 各HR教室

◎案内 参加者募集中!

第21回 いずもアートコンクール

中学校の美術・デザイン能力の研鑽の場、美術を愛好する心を育成することを目的としています。
日時 8月20日(金) 10:45～14:00
内容 人物を描く
会場 出雲北陵高等学校美術棟
賞 最優秀賞 1名
優秀賞 若干名
参加資格 県内の中学生《参加無料》

第25回 教官演奏会

本校音楽コース講師の方々による演奏会を左記の通り開催します。皆様のご来場を関係者一同心よりお待ちしております。是非お越しください。
時 7月16日 18時00分開場
18時30分開演
於 ビッグハート白のホール

出演者…
今岡美保(ピアノ)

山木牧子&水師彩子(ピアノデュオ)
齋藤葉耶花(ピアノ)
森田恵子(ソプラノ)
持田 崇(サクソフォン)
竹田智徳(ユーフォニアム)
福場史子(打楽器)
伴奏者…金本智子・佐藤葉月
入場料…一般 1,000円
学生 500円

第25回 教官演奏会
25th Instructor Concert
出雲北陵高等学校 音楽コース
7月16日(金) ビッグハート出雲
18:00開場 18:30開演
出雲北陵高等学校 TEL(0853)21-1871 FAX(0853)21-8280

中学校

令和3年度出雲市 中学校総合体育大会結果

卓球部

時 6月8・9日
於 斐川第一体育館

優勝(2年ぶり11回目)

〈男子団体〉
優勝 小野泰和(中3鮎)
2位 田中悠斗(中3鮎)
3位 濱田都希(中3鮎)、金丸 陽(中3鮎)
ベスト8 三好蒼空(中3鮎)
○大会総評
この結果により、団体及び推薦者を含む5名の選手が県総体への出場権を獲得した。
(顧問 相場翔太)

男子バスケットボール部

時 6月8・9日
於 斐川中学校体育館
本校体育館

第3位 県総体出場決定(13年ぶり)

〈予選リーグ〉
本校 50-49 斐川西
本校 60-53 平田
1位(2勝0敗)
〈決勝リーグ〉
本校 55-87 出雲三
本校 47-94 出雲二
3位(0勝2敗)

○大会総評

初日は粘り強く戦うことができ、目標としていた県総体出場を果たすことができた。二日目は力及ばず敗れてしまい、また練習に励もうと思う。ご声援有難うございました。
(顧問 多々納厚比古)

女子バスケットボール部

時 6月8・9日
於 本校体育館
斐川西中学校体育館

第4位 県総体出場決定

〈予選リーグ〉
本校 33-57 出雲三
本校 77-35 浜山
〈順位決定〉
本校 62-40 向陽中
本校 49-43 出雲二

○大会総評

予選から自分達のできることを存分に発揮し、何とか県大会出場を獲得することができた。出雲二中戦では途



中苦しい場面もあったが、チームで乗り越え勝つことができた。今後は県大会に向けて練習に励みたいと思う。
(顧問 篠原勝利)

野球部

島根県中学校優勝野球大会出雲市予選

時 6月8～10日
於 平田愛宕山球場

一回戦 本校 0-1 大社中

○大会総評

一回戦大社中に7回サヨナラ負けを喫した。3年生はこれまでチームを引っ張り、試合も最後まで粘り強く戦った。この悔しさを新しい高校の舞台で晴らしてもらいたい。これまでたくさんさんの応援有難うございました。
(顧問 手銭修司)

第二回校外講師特別講座(座禅と講話)

時 5月26日
於 一畑寺



今年度も歴史と由緒ある一畑寺を訪問し、管長の飯塚大幸様のお世話による座禅と講話の会を、密を避けるため午前・午後の二班に分けて実施した。非現実の静寂に身を置き、警策の音が響く中、自己と向き合う貴重な時間を持つことができた。

【生徒感想】

一畑寺にお参りしたあと講話と座禅がありました。講話ではまず「一番大切なものは何



本校中学3年生34名が参加。1時間目は特別進学コースの先生と代表生徒より特別進学コースの魅力を紹介してもらい、2時間目には4グループに分かれて、日本史・化学・数学の授業を見学した。更に3時間目では化学と英語の2科目の授業を実際に体験した。中高が連携しているからこそ、の行事であり、他の中学校よりも一足早く高校の授業の雰囲気を知ることができ、いい機会となった。

特別進学コース 授業体験

時 6月15日
於 出雲北陵高校

か」と問われ、正直戸惑いました。管長様の答えは自分自身でした。その時、自分を一番大切にしないといけないと改めて強く思いました。自分の気持ちや気分は全て行動に出るし、姿勢でも分かるというお話を聞いて驚きました。確かに今までの自分を振り返ると、怒っている時は、履物を揃えたりするのが雑になったり、気分が良い時は落ち着いて行動できたりとその通りでした。

その後、座禅をすると、自分の心と向き合うことができ、自然の音や自分の呼吸を耳を傾けて聞くことができました。今までとは違う静けさや腹式呼吸など、わからなかったことを新しく発見することができ、とても良い体験になりました。勉強や部活動、習い事など、落ち着いてすることが苦手な私には、自分と向き合え心安らぐ貴重な時間となりました。

岩崎 彩(中2)

交通安全教室開催

止まれ
時 6月21日
於 北陵ホール・3年教室

今年度も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策として、3密を避ける目的で、タブレットを使用したリモート講義を行った。1・2年生は北陵ホールで、3年生は各教室で受講した。出雲警察署交通課の谷猛史様が講師として来られ、DVDやパワーポイント等を用いて生徒へわかりやすく交通ルール等、ご指導いただいた。

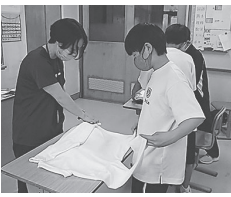
【生徒感想】

DVDで実際に起こった事故の例を見ると、相手に大げなをさせてしまつて賠償金を支払つたり、相手が亡くなつてしまふ例もあり、自分では手に負えないほどの大きな事態を招いてしまうことを実感し、とても怖いことだと思いました。これから自転車に乗る時は、交通ルールを守り、色々などところに気を付けていきたいと改めて感じる事ができました。

生活副委員長 佐々木璃子(中3)

第1回合同礼法

時 6月14日
於 1年教室



礼法主任の井上美代教諭を講師に迎え、一年生の合同礼法を開催した。初めに、本校の創立者水谷キワ先生、校訓、礼法という教科について分かりやすくお話していただき、その後、「服のたたみ方」等を教えていただいた。

【生徒感想】

今日は初めての礼法指導で、初めて

聞くことがたくさんありました。

特に「優しく、剛く」は、「優しく強く」ではないと知っていましたが、意味は知りませんでした。今日の授業で、相手の立場に立つて考えることや、自分に厳しく、律することの大切さについて学びました。また、挨拶することや感謝すること、ルールを守ること、は言うのは簡単ですが、行動に表すのは難しいので、少しずつやっていきたいです。

そして、服をきれいにたたむことは、物だけでなく、人も大切にすることにつながるといことも知りました。今日学んだことを、これからの生活に生かしていきたいです。

北野亜門(中1)

キャリア教育(進路学習)

時 6月16日
於 北陵ホール

中学2年生

講師：島根県立中央病院
副看護師長 黒田志保様



中学2年生19名を対象に、「何のために働くのか」というテーマで、ご講話いただいた。働くことの意義や楽しさ、大変さといった「リアル」な話は、生徒や教員の心に届き、働くことについて深く考える有意義な時間となった。まずは「何のために学ぶのか」を心に留めて日々の生活を過ごしながら、今後の進路決定に役立てていきたい。

【生徒感想(一部抜粋)】

今日のキャリア教育で、働くという



講師：日本生命相互保険会社
支社マネージャー 青木良憲様

中学3年生

中学3年生33名を対象に、「わたしのライフデザインと支え合うみらい」というテーマでパワーポイントやワークシートを用いながら、未来について考える活動を行った。中学3年生は長い人生において「受験」という大きなライフィイベントが待っており、その先の未来を考えることで、受験に対する意識を高めるいい機会となった。

【生徒感想(一部抜粋)】

今日、青木良憲さんの話を聞いて、将来の人生、未来について考えるきっかけを作ることができました。自分が将来、何をしたいかなど、考えていることを実現するには、お金の使い方を考えることが必要だと感じました。

酒田花乃(中3)

作品と研究

総体を振り返って

女子バスケットボール部

原 ひなた(3・5期)

今年のチームは、新型コロナウイルスの影響で大会や遠征が無くなり、例年に比べ試合経験の少ない状態で総体を迎えました。そのため、初戦の益田高校戦では勝つことはできましたが、試合慣れしていないのがはつきり出た試合となりました。続くと二回戦の松江東高校戦では、最初から相手のペースで試合が進み、自分達のプレーができなかったと思います。今年のチームは試合の出だしが悪く、相手のペースで試合がスタートすることが多かったため、自分達のプレーを発揮するまでに時間がかかりました。しかし、皆が最後まで諦めず精一杯戦い抜くことができたと思います。今大会は、悔いが残る試合になりました。私自身も試合の途中で怪我をしてしまい、私はそれ以上試合にできることができませんでした。最後の試合がこのような終わり方になってしまいとても悔しいです。最後まで試合に出場し、皆ともつと試合をしたかったなと思いました。この二年半の間、色々なことがあって、楽しかったことも辛かったこともたくさんありましたが、このチームで最後まで戦えて良かったです。三年生にとっては最後の試合になってしまいました。二年生はこれから新チームで活動していく一つずつ改善していく、多くの試合に勝つて、より上位を目指して頑張りたいです。

ここまで私達を支えてくださった、保護者さん、その他、関わってくださった方々に感謝し、これからは、私達がそのお返しができるように生活していきたいです。

テニス部

嘉本 健太(2・5期)

今回の総体を振り返って思ったことは、まず県総体が開催できたことが良かったことです。去年は新型コロナウイルス感染症拡大により県総体が開催されませんでした。それにより、去年の三年生の皆さんは県総体という部活動最後の大会に出られず不完全燃焼で引退されました。しかし今年新型コロナウイルスが島根にそれほど広まらず無事、県総体が開催されたので良かったです。

自分達が県総体のために日々意識して練習してきたことは、『わがままな練習をする』ことです。ただ自分の好きな練習をするのではなく何が自分に足りないのか、何の練習をすればいいのかわからないので考え積極的に行動することを日々意識してきました。他にも打っている時には「足が動いてない」など自分が気付いた事は注意し合っていました。

これらの事は皆が行っていたことです。が、私がつとも意識していたことはキャプテンとしてチームをまとめることです。私は二年生からキャプテンを務めていました。今までは先輩方のキャプテンを見てきましたが、いざ自分がやってみると最初は何しているかわからず、チームをまとめることができなかった。先生に怒られた時もありました。しかし、時間が経つにつれてチームをまとめることができ、チームの雰囲気も良くなりました。今回の県総体でもチームメイトが試合している時は皆で一生懸命応援することができました。

三年生が引退して新チームになりました。が「わがままな練習をする」という意識を持ってあと一年間頑張りたいと思います。

陸上競技部

水 歩夢(3・1期)

私は一年前に陸上部のキャプテンとなり、自分から積極的に行動していくことを心がけました。今年のチームの特徴は、

部員一人一人が明るく、大会ごとに目標を設定し、それを達成するために努力をしていることだと思います。また一年生がたくさん入部し、大会では生徒役員としてよく頑張ってくれました。そのお蔭で私達選手は大会に集中することができました。

県総体では、一人でも多くの中国総体出場と自己ベストを出すことを目標に大会に挑みました。しかし、今年もコロナウイルスの影響でどうなるかわからない不安もありましたが、開催が決まったら、先輩達の想いを胸に練習に取り組みむこともできました。結果は、4名が入賞。男子三段跳で柳谷が二位となり、中国総体の出場権を獲得しました。チーム全体では、今季ベストを含めて全員がすべての種目で自己記録を更新することができ、本大会に良い大会になりました。この大会を通して、役員の皆さんのサポートの有り難さを改めて感じるようになりました。

最後にコロナ禍の中、大会を開催していただいた先生方本当に有難うございました。そして、ここまで支えてくださった保護者の方本当に有難うございました。これからも陸上競技部の応援をよろしくお願いします。

サッカー部

今岡 洸太(3・4期)

5月27日、三隅中央公園競技場で行われた県総体に出場させていただきました。一回戦松江西高校と対戦しました。

試合が始まり序盤はお互い攻めと守りをずる時間が続き、ゴールに迫り何度かチャンスがあったものの決めきれず、試合が引きつりました。その後、相手はコーナーキックを与えてしまい一度は防いでもの、こぼれ玉を押しこまれ先制点を許してしまいました。1点を取り返そうと全員が攻めの意識を持ち、前がかりになってしまいました。その隙をつかれ、カウターで2点目を奪われ、そのまま前半を終えました。「絶対に取り返す」とい

う強い気持ちを持って後半に挑み、相手ゴールをおびやかす場面も何度かありましたが、1点が遠くなかなか相手ゴールを割ることができませんでした。そして後半終了間際に試合を決定づける3点目を奪われ、そのまま試合が終わり初戦敗退というものです。悔いの残る試合となりました。悔しいです。私は試合が終わった後、悔しさや悲しさよりも、キャプテンとしてチームを勝利に導くことができなかった不甲斐ない自分への怒りの方が強く、チームの皆に対して申し訳ないという気持ちでいっぱいになっていました。これまで北陵サッカー部はたくさんの方々に支えられて先輩達がここまで頑張ってくれたと思います。先生方はもちろんですが、どんな時でも自分達の味方であってくれた保護者の方々には感謝の気持ちでいっぱい입니다。



R3春季写真コンクール特選作品

今月の
1枚

「もっと自由に」

伊藤 美希(2・1期)